

学校名 北本市立西中学校
所在地 北本市石戸9-210
電話 048-592-9397

1 本校の概要

開校36年目を迎えた本校は、全校生徒210名の小規模校である。今年度より、教育目標を「共に学び、共に鍛え、共に向上できる生徒」と改めた。めざす学校像は、「笑顔あふれ、優しさで行動力をはぐくむ学校」である。また、「かば桜学園」として小中一貫教育を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実

(2) 実践の概要

図書委員による西中学校読書週間の取組

ア 図書委員による本の出張貸出

朝8時から20分間、各学年の廊下で本の貸し出しを行う。図書委員が皆に借りてもらえるように、本を選出。「おもてなし号」と名づけ、季節にあった飾りつけをして出向いた。

イ 図書委員による絵本の読み聞かせ

昼休みに行く。季節にあった絵本を選び、読み聞かせをする。何回か練習をし、本番に臨む。



出張貸し出し

絵本の読み聞かせ

ウ 校長、教頭によるブックトーク

昼休みに行く。教頭は東野圭吾の本を読破しているため、自身のベスト5を紹介。その後、皆でベスト1を当てるクイズをした。校長は中学生に読んでもらいたい本を紹介。その後質問コーナーを実施した。

エ 図書委員によるお薦めの本の紹介

昼休みに行く。各学年約2名がお薦めの本を紹介。本の書き出し、印象に残った文、内容、感想を述べた。

3 成果と今後の課題

(1) 図書委員による本の出張貸出

<成果>

普段、図書室に来ない生徒も本を見に来て、借りていく姿が見られた。

<課題>

出張貸出で借りていく生徒が本を返却しに図書室に来た際に、次の貸し出しにつなげたい。

(2) 図書委員による絵本読み聞かせ

<成果>

昼休みにホッと時間を過ごすことが出来ている。絵本の楽しさを短時間で知ることが出来、図書室へ足を運ぶ生徒が増えた。

<課題>

同じ人が読むのではなく、図書委員が交代で出来るようにしたい。

(3) 校長、教頭によるブックトーク

<成果>

先生方に本を紹介してもらう機会がないので、殊に校長、教頭の話が聴けることに生徒は新鮮でかつ興味を持つことができた。

<課題>

他の先生や生徒にも本の紹介をしてもらい、つなげていきたい。また、短時間で効果的な発信方法も工夫したい。

(4) 図書委員によるお薦めの本の紹介

<成果>

お薦めの本を紹介することで、皆に本を借りてもらえ、図書委員としての自信がついた。

<課題>

もっと興味を持ってもらえるような話合い、リハーサルを行う時間が必要である。